様式第１号

木材加工設備リース導入支援

リース料助成申請書

　令和　　年　　月　　日

　　全国木材協同組合連合会

　会長　　　　　　　　　　　　　　　殿

当申請は適正なものと認められたので進達します。

地域木材団体長

代表者名

（助成申請者）

住所

会社名

代表者名

電話　　(　　　　)　　　　　―

（リース会社）

会社名

代表者名

電話　　(　　　　)　　　　　―

木材加工設備リース導入支援による助成を受けたいので、木材加工設備リース導入支援助成金交付規程第２の１に基づき、関係書類を添えて申請します。

記

　１　リース契約の内容について

|  |  |
| --- | --- |
| リース会社名 | 住所会社名 |
| リース物件の形式等 | 対象設備名形式等 | 数量 |  |
| リース物件の設置場所 |  |
| リース物件の取得価格　　(消費税除く） | 円　 | リース期間 | 　　　　年（　　　カ月） |
| リース料金　　(１ケ月当たり金額)　　(消費税除く） |  |  |  |

2　組織と事業の状況

|  |  |
| --- | --- |
| 業種名 | 　 |
| 資本金 | 百万円 |
| 従業員数 | 人 |
| 最近1ヶ年の事業内容 | 事業内容 | 販売額（千円） |
| 　 | 　 |
|
|
| 合計 | 　 |
| 最近1ヶ年の　　　　　木材・木材製品　　　　の販売状況 | 品目 | 販売数量（㎥） | 販売額（千円） |
| 地域材 | その他材 | 地域材 | その他材 |
| 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
|
|
| 合計 | 　 | 　 | 　 | 　 |

3　機械設備導入の目的

|  |
| --- |
|  |

4　現有の主要設備の状況

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 設備名 | 台数 | 能力 | 人員 |
|  | 　 | 　 |  |
|
|
|

５　木材・木材製品の合法性又は持続可能性を証明する方法

（１）　森林・林業・木材産業関係団体の認定を受け証明する方法

認定団体の名称：

認定番号：

（認定書写しを添付してください。）

（２）　その他の方法により証明する方法

具体的に記載

（森林認証やＣｏＣ認証、独自の証明方法等が確認できる書類を添付してください。）

（３）　申請時点で証明方法が確立されていない場合

確立に向けた取組の状況を具体的に記載

（認定申請書写し、交付規程第２の４の(2)の但し書きについてリース会社との確約書等の書類を添付してください。）"

６　添付書類

（１）　木材供給高度化リース計画書・乾燥材生産計画書

（２）　リース契約書（写）

（３）　｢要領｣第２の１の(4)のイに基づく地域木材団体意見書及び同エに基づく都道府県知事意見書

（４）　参考資料

①リース物件見積書

②リース物件の注文書

③設備位置図（工場内見取図）

④直近の決算書

⑤設備仕様書（カタログ等）

⑥その他参考資料

木材加工設備等リース導入支援・乾燥材生産計画書

作成年月日　令和　 年　 月　 日

作成者名

助成対象設備名

1　取扱量

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区　分 | 助成対象設備における年間取扱量（㎥） | 工場全体の年間取扱量（㎥） | 備　考 |
| 地域材 | その他材 | 合計 | 地域材比率(%) | 地域材 | その他材 | 合計 |
| 最近１ヶ年 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| １年目 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| ２年目 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| ３年目 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| ４年目 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| ５年目 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| ６年目 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |

注（１）　年間取扱量欄には、年間取扱量をリース料助成最終年度まで記入する。

注（２）　１年目とは、助成設備を導入した年度（4月～翌3月）とする。

リース料助成対象設備が、木屑焚ボイラー、焼却炉の場合は「工場全体の年間取扱量欄」に記入する

2　地域材製品生産拡大のための具体的取組方針（原料調達・製品開発・販売先の開拓の現状と

取組）

（地域材製品生産拡大の社としての方針、関連する原料調達・販売方針・施設整備・製品開発方針などを具体的に記載して下さい。）

3　乾燥材の生産量

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区分 | 工場全体における木材の年間取扱量（㎥） | うち乾燥材取扱量（㎥） | 構造材の生産量等（㎥） |
| 地域材 | その他材 | 合計 | 全生産量 | うち乾燥材量 |
| 最近１ヶ年 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| １年目 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| ２年目 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| ３年目 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| ４年目 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| ５年目 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| ６年目 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |

注（１）　ここでいう乾燥材とは、木材製品の含水率が20％以下のものをいう。

注（２）　1年目とは、助成設備を導入した年度（4月～翌年3月）とする。

4　その他の品質の安全・向上に関する計画

（１）　機械設備の処理能力

導入前 ㎥ / 1日 （8時間）

導入後 ㎥ / 1日 （8時間） (　　　　 ％アップ）

（注）㎥で表すことができない場合は率（％）であらわすこと。

（２）　その他の品質向上安定に関する取組（乾燥材歩留まり、プレカット対象部材拡大、JAS認定取得の状況など）